

○事業所名	社会福祉法人 蓮花の会 放課後等デイサービスゆめきら			
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～	令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数)	21人
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～	令和7年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ チームワークがいい	・ 職員間の声掛けを密に行うことができている ・ 会議やミーティング等をこまめに行い、その際に職員の気づきや困り感を出し合うことができている ・ 職員同士が話しやすい環境や雰囲気づくりを心掛けている	・ 職場以外でコミュニケーションを図れる場を設ける（off-JT） ・ 気になる事や分からない事・職員同士での助言やアドバイスなどを積極的にやっていく。 ・ 上司・部下の関係性を保ちつつも互いに意見を出しよりよい環境づくりを行えるように努める
2	・ 職員が子どもと個々に関わろうという意識を持つことができる	・ 特定の職員だけでなく全職員が個々に関わることが出来るように工夫されている ・ こまめに職員に支援のツールの情報提供が行われている ・ 日々の訓練や活動の際は個人で配慮することや支援の方法などの共通理解が出来ている ・ 活動の際には計画案がしっかりとたてられており、こどもへの配慮の仕方が明確化されているため支援の方法が分かりやすい	・ よりよい支援方法の情報共有を行う ・ 常勤だけではなく、兼務職員やパートの職員にも研修を受けてもらう機会をよりたくさん設けていきたい
3	・ 多数の学校（8校）の受け入れにより、たくさんの地域の子どもたちの受け入れができています	・ 人員配置を十分に行い、見守りが手薄にならるように配慮している ・ その日その時に重点的な支援を必要とした利用児がいる場合は対応する職員が送迎や見守りなど臨機応変に対応している ・ 他校の友だちとも関わる機会が増えるように意識して集団の場面を設けたり仲介を行ったりしている	・ 今後も新規利用児の受け入れの問い合わせがあった場合は受け入れを前向きに検討し、本人や保護者のニーズに合った支援を行ってきたい。 ・ 今後も地域との連携を図ってきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 室内や敷地が狭いため、環境調整が難しい	・ 個室が少ないため、学習することやおやつを食べている子など煩雑になる場面が多々ある ・ 道路が目にある ・ 体を動かす空間がないため車庫などの狭い空間で対応を行っている ・ 駐車場がとても狭く、送迎時は煩雑になっている	・ パーテーションやカーテンで仕切りを作り個室空間を作る ・ 近くの公園に行き広い場所で体を動かす機会を作る ・ 室内が狭く、騒がしくなることもあるため事務所を個室として活用したり、ダンボールハウスを設けるなどし、環境を分けるようにしている
2	・ 多数の学校（8校）の受け入れを行っているため、送迎が煩雑になり職員が手薄になる時がある	・ 送迎に職員の手がとられるため見守り職員の人員が少なくなる時がある ・ 見守りに人員をとられるため訓練を十分に行えない日がある。 ・ 多数の学校への送迎対応が多くイレギュラーなことが多々あるため臨機応変な対応が求められる ・ 職員の体調不良での欠勤もある	・ 臨機応変な対応が求められるため常に職員が連絡をとらえる環境を整え、グループで情報共有を行えるツールを活用している ・ 見守り配置の人員が少なくなる時間帯があるため、職員同士で声を掛け合い子どもたちの居場所や行動を把握し事故や怪我のないように連携を図る ・ 休日利用や長期休暇利用になる際は、職員の休息を確保できるようにする
3	・ より多くの専門職員を配置したい	・ 専門職の求人の問い合わせが少ない ・ 同じ法人で多数の事業所があるため専門の資格を持っている職員が各事業所に分散されている ・ 作業訓練や言語訓練の評価や支援方法をより具体的に知り専門的な訓練を導入したい	・ 今後も他事業所の専門職の職員にアドバイスをもらい支援に繋げていく ・ 専門職の意見をいただきたいときは電話や会議などで助言を聞くようにし連携を図っていく